

**赤心堂病院**  
内科・外科・花柳病科  
耳鼻喉科・婦人科  
平町田町(電話四七五番)

**高久病院**  
内科・外科・耳鼻  
咽喉科・花柳病科  
平町田町(電話五二三番)

**松村病院**  
内科・外科・婦人科  
デアルミール光線科  
花柳病科・胃腸病科  
平町南町(電話一〇七番)

**郷土社**  
各種古本高價買取  
新古今交換及販賣  
出版編輯及翻譯(英)  
傳記及家譜調査及編著

平町白銀三番地  
(帝國館裏通)

**急告!!!**  
東京瓦斯株式會社の電報に  
依り本日より値下げ断行す  
一噸居拂 三十三圓  
壹俵居拂 壹圓卅錢  
東京瓦斯株式會社特約店  
水野コークス部

**常新新聞**  
發行所 島縣石城郡平町字長橋町廿五番地  
印刷所 常磐毎日新聞社

刊夕日八十二月七

**急告!!!**  
▼賣家  
一和洋(二階建)  
一折裏(六十三坪六合)  
一一下屋(二十四坪六合)  
一場所(平町字田町平陽  
一實科女學校々舎  
右建物賣却す希望の方は申  
込まれたし  
委細面談……酒井

**家賃**  
白銀町……三、〇〇〇  
仲間町……三、〇〇〇  
柳町……三、〇〇〇  
平町白銀町  
加藤營業所  
電話三三三番  
五丁目十一番  
宅地百六十二坪

**流水錦**  
教授 琵琶  
平手錦靴  
平町六十五番地

**印神天**  
しるしはんでん  
弊舖の萬言よりも  
華客の一言にあり  
手拭・風呂敷  
消防被服  
刺子類一切  
柏屋染物店  
柏傳刺子部  
平町材木町

**牛肉と葡萄酒**  
米國スエット會社一號  
コンビーフ牛肉 正味九十  
久入一罐 金四十錢  
甲斐産商店勝沼工場製  
大黒葡萄酒 正味 金一圓七十錢  
洋酒罐詰食料品商  
西村屋藥舖  
平町二丁目  
電話三三三番

**レコード**  
TRADE MARK NIPPON OPHONE  
……(定價表)……  
オリエント印両面 .80  
エーキー印同 .90  
ゴシ印同 1.20  
ワッパ印同 1.20  
ツバメ印同 1.20  
(以上一枚毎に景品呈上)  
ツバメ印レコード  
會社と海岸線一手  
特約祝として向ふ  
二ヶ年間同印両面  
レコード一枚一圓  
宛で差上ります  
(毎月新譜取揃有)  
平町一丁目(電話三三三番)  
常盤屋  
時計店

**御設備下さい**  
文化生活の強敵なる  
恐るべき蠅の撲滅の爲に  
驚くべし一匹のハイは、百參拾萬の  
細菌を保有して居るそうです  
蚊とり兼用器  
特許のハイトリツク 金四圓五拾錢  
平町五丁目(電話九番、一三九番)  
和洋銅鐵  
金物問屋  
釜屋商店

**無産者水道(二)**  
川崎文治  
即ち若し自家用として専用  
栓を敷設せんとする時は最  
も細い三分徑の鐵管に依つ  
て五間の場合廿五圓九十八  
錢、十間とすれば卅五圓十  
錢、廿間の距離を敷くには  
四十三圓五十四錢の敷設料  
を負担せねばならない、故  
に無産階級者は容易に専用  
栓を敷く事が出来ず、仲々  
以つて水道の恩恵には浴せ  
ないのである、然も無産者  
の多くは裏長屋に住居を定  
めて居るから引き込み管も

**株賣買中値**  
左記の値段は本日の標準値  
に付御用の節は御問合願候

錦格	拂込	時價
平銀行	五〇〇	五三〇
警越銀行	五〇〇	七一〇
警城銀行	五〇〇	一〇五
警城實業	五〇〇	四三〇
警城實新	三〇〇	二九〇
田村實銀	三〇〇	二二五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一五〇	一八八
同新	五〇〇	五五〇
同新	二二五	一六〇
同新	二二五	九八
同新	五〇〇	三六五
同新	二二五	一六〇
只見川電	二二五	一六〇
植田水電	二二五	一五五
好問水電	二二五	一三〇
警城建物	二二五	一三〇
警城製菓	二〇〇	四〇
平信託	五〇〇	二五〇
警城勸業	二二五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製水	二二五	二二〇
好問軌道	五〇〇	三三〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二二五	一七〇
警城炭礦	五〇〇	四一〇
同新	二二五	一八〇
同新	二二五	六四五
同新	二二五	三四五
同新	二二五	八〇

平町田町 電話三三三番  
**丸登株式店**  
川添房二郎

の水を飲用し得ると雖も隣  
家なる乙の家にては依然と  
して非水を使用して居た結  
果として若し悪疫に胃され  
たとすれば其微菌は遂に甲  
の家をも襲ふ事となり結局  
保健衛生の鍵を握つて居る  
本紙の主張 今後本紙  
は水道敷設料の軽減に關し  
他迄其主張の貫徹を期さん  
とするものである、同感の  
諸子は奮つて御投稿を乞ふ  
水道も其効果が減殺される  
故に若し平町が瀾憂すべき  
悪疫の毒爪より完全に遁れ  
んとするには是非共一般に  
水道を普及せしめねばなら  
ないのである(續)

若し貴下が水道の

専用栓を敷く際には

其負擔がイクラか?

無産階級には容易でない 故に本社は負擔軽減を建言

一營利會社の手に依つて危く奪はれんとした水道の水を民衆の力に依つて奪へ返す事が出来たが若し眞に水道の便益に浴せんとして自家用の専用栓を敷くには一體の位への金がかかるか? 水道本管の埋没して在る道路から自宅の臺所迄五間の距離を有すとして

分水栓一圓五十九錢、土水栓一圓九十九錢、止水栓一圓九十三錢、鉛管一圓九十三錢、ハンダ八十錢、水栓一圓九十二錢、水栓柱五圓六十四錢、雜材料六十錢、雜費廿錢、鍛工七十五錢、工天六十錢、人夫九十錢、道路修繕九十九錢、合計廿五圓九十八錢

即ち廿五圓九十八錢を要する是れが十間となれば卅五圓十錢廿間では四十三圓五十四錢の經費がかかる以上の見積りは一番細い三分徑の鉛管であつて此上一分増しに八分徑迄あるから

鉛管が 太くなればなる程材料費が膨張する事勿論である、これでは無産階級は容易に専用栓を敷く事が出来ぬ、故に本社は平三萬の町民が容易に水道の恩恵に浴する事の出来る様負擔の軽減を計る爲め材料を蒐集して研究中であつたが茲に三ヶ條の案件を作製して

町當局 建言すべ

く準備を整へて居る若し此三ヶ條件が幸ひ町當局の承認する處となれば水道を一般に普及する上に於て殊に無産階級に貢獻する處甚だ大であるを確信して居るが果して三ヶ條件とは何か? 次號以下本紙の社説及報導記事を参照して聲援を乞ひたいのである

平町納税 状況

前年より良好

平町役場に於ては廿五日縣稅及町稅戸數割納期日切迫と共に臨時收入口迄送附納稅者の迎接に忙殺されつゝあつたが同日迄の收入済み額は全體の賦課額に對し三割五分二厘の成績にて前年同日迄に於ける收入歩合二割九分七厘にくらべ約五分の向上を見た譯である

石城農事試験 分場の稲作

農家に負けた

本月廿三日現在本縣農事試験場石城分場水稻夏作状況は早生三種平均草丈二尺九分莖數十二本(關山陸羽七、早生神力)中生三種平均草丈一尺八寸莖數十三本七金子一號東郷二一號豊後一五號)晚生三種平均草丈一

尺七寸八分莖數十三本二(愛國二〇號亡愛國九重)で平均草丈八寸九分莖數十三本を示したが附近一帶の農家の狀況は同場よりも寧ろ優良である

攝政官御滞在中は 毎日出勤して警邏

傍ら火防宣傳ビラ撒布

平消防幹部の協議

平町消防組にては昨日午後四時から平署樓上に於て幹部會を開き井上組頭以下小頭參集伊藤署長と共に攝政宮翁島行啓に就いて地方治安上に關し協議を遂げたが御滞在中は毎日小頭二名、消防手三名宛が午前七時から午後十時迄出勤し町内を巡邏警戒する外火防宣傳のビラを撒布する由

草かり

四班に分れて 炎天下の勞働

磐城中等學校にて開講中である中堅青年講習會にては昨

漬物の酸味

カテイラン

甘口の香の物が近頃の暑さにごうしても酸味を生じておいしくいただけられませんこれがはきざんで卸し生姜をかけていただきますと大そうおいしく頂かれます、しかし毎日はいやになりま

放牧地問題

解決促進陳情

石城郡警備村田代放牧地問題に關し御代同村長及び吉田上遠野助役は委員二名を帶同して解決促進に關し本

愛犬の夕ニ

ガニは捨て、おくと愛玩用のいぬなどは往々そのため營養を害して死ぬものです

鯉漁水揚高

廿五日迄に

本縣水産試験場鯉漁廿五日迄の水揚高は十八萬三千四百六十八尾にして此價格二十三萬四千四百九十九圓にて目下の漁場は金華山沖東十三時間豊間沖五十時間磯部沖廿六時間の附近等にて漁場は漸次北方に移動せるものゝ如く潮流は漸流急にして毎時約二哩を算しつゝありと

自治講習會

問倉町にて

本縣町村長會石城支會では来る八月廿日より五日間石城郡四倉町小學校に自治講習會を開催することに決定した

長橋乳劑撒布

平町字長橋町にては本日衛生係員全部出働溝渠其他に石油乳劑を撒布した

「帝國館差替」 元露國帝室技藝員アンナズベリナ嬢が特別出演する切支丹娘「異端者の戀」を始め歐州映畫として名聲ヤク／＼たる、佛國パター會社特作

「のろの覆面」及び大猿團相次ぐ「足跡」其他何れも例に依つて名畫揃へてあるからファンをして充分に満足せしめ得るのである

常磐片々

豊間から水戸の雷神様へ水乞ひに行つた

水戸附近には大雷雨があつたが石城地方にソナナ氣配も見えぬ

雷神様も遠くなるど人情でなくて神情が薄くなるど見える

サリトは餘んまり聞こえぬ ガカラヨ、遠いんだもの聞こぬのは無理もない

秋蠶掃立を 減らせ

無理をするを 必ず失敗する

近年稀な早天續きで桑條の伸長も桑葉の發育も葉質も甚だ不良で今後二三回の降雨があつたとしても第一期の本秋蠶用の桑には最も遅い、依然收穫減と葉質の劣變の恢復は望まれない、秋

平町縣稅検査 平町役場に於ては目下縣より出張の検査員と協力縣稅納稅者の實地調査であるが連日脱稅者續々として發見されつゝある

蠶の飼育者は此のことをよく考へて置かねば不測の失敗を來すから充分注意するがよい、此の對策としては掃立期日を繰延ること飼育上に關する注意は云ふ迄もないが更に桑園の收穫と對照してグット掃立量を減じ

そして晩秋蠶を掃立てるやう勧め度いと思ふ、無理をして本秋蠶を平年通り掃立てゝは桑葉不足を招いてうまく行かぬことは判つてゐる、それから早天も此の上長く續くとも思はれない必ず近く又適當の降雨があるに違ひないからこれ迄成育しなかつただけそれだけ平年よりは晩桑期の桑はよく